

ととのひかるあしあと

藤本 千尋

「かみ、そろそろだしてくださいって。」
「あ、そうだっけ。」

ととはとつてもわすれんほう。パンをかいにいつてわすれ、ゆうびんをだすのをわすれ、ばあばのたんじょうびやわたしとのやくそくをわすれ。まい日^ひ1かいは、ぜったいなにかをわすれます。そして、いつもてきとうに「だつてわすれちゃうんだもん。」とわらつて、ちっともなおそうとしませんでした。でも、そんなととが、さいきんかわつてきたことに、わたしはきづいてしまいました。

まず、わすれものたいさく。がつこうからもらつてきたプリントをしゃしんにとつて、よるとあさにもちものをチェックします。そして「きょうはこれをもつていく日^ひだよ。」とまい日^ひいつてくれるようになります。つぎに、やくそくわすれたいさく。やくそくしたらすぐスマホのカレンダーにかいて、なんかいもみたり、アラームをならしたりするようにしました。それからわすれたときのこと。なにかわすれると、ぺっこりあたまをさげて、ちゃんと「ごめんね。」とあやまつてくれるようになりました。どうしてきゆうにかわつたんだろう？ かにきいてみたら、

「小^こがくせいになつたちいちゃんのおて本^{ほん}にならなきゃとおもつたんじゃない？」
と聞いていました。わたしはしんぱいになりました。きゆうにがんばりすぎて、ととがつかれたらかわいそうだとおもつたからです。でもかかにそれをいつたら、わらつていわれました。

「だいじょうぶ。ほら。」
かかがゆびをさしたほうを見ると、ろうかのでんきがつけばなしになっていました。けしにでると、そのさきのおふるばも、わたしのへやも、なんとトイレまででんきがついています。ととだ。あるいたところのでんきをぜんぶけしわすれて、あしあとみたいにひからせていました。なあんだ、わたしのこといがいほもとのとのままだった。ホツとしたら、なんだかおかしくなつてきてわたしはわらつてしまいました。それから、わたしのためだったらすごくがんばれるとこのことが、もつともつとすきになりました。

とと、わすれないようにするのがてなのに、わたしのためにがんばつてくれてありがとう。ととのひかりのあしあとは、わたしがたどつて、けしておいてあげるね。がんばるととも、そのままのととも、ずつと、とつてもだいじすぎだよ。

評価のポイント

「そのままのとともだいじすぎだよ」と優しく語りかける締めくくり^{くくり}に心を打^うたれました。「ひかるあしあと」など、表現力も優^{すぐ}れています。